

「ひかり拓本」の普及を目指してクラウドファンディングを開催

これまで墨と紙で採られてきた拓本を、光とデジタルカメラで作成する「ひかり拓本」という特許技術があります。研究チーム内でのみ使用してきたこの技術ですが、多くの要望を受け、普及用のスマートフォンアプリ版を開発するため、2022年10月5日から12月2日のおよそ2ヶ月の期間、クラウドファンディングを開催しました。文化財関連の実績が多いREADYFOR株式会社のサービスを通して、目標金額380万円を掲げて開始、開始2日目には目標の50%に到達し、2週間後の10月18日に目標金額に到達しました。そこで教育現場への無償貸与用機材の調達のため500万円を第2目標として設定、これも開始からおよそ1ヶ月後の11月9日に達成しました。残りの1ヶ月は最終目標であるWebサイト構築の構想のみを掲げ、あえて金額目標は設定せず、最終的には359名の方々より653万円のご支援をいただき、無事目標を達成することができました。

本技術は、特に教育現場への普及に力を入れております。クラウドファンディングの期間中から、地元の奈良県立奈良高等学校のSuper Science Highschool事業による授業にも技術協力しています。また、小学校の防災教育の一つとして、生徒が自分たちの手で、災害の記憶を今に伝える自然災害伝承碑を拓本し、そこに書かれている文字を読み、さらに町の古老から過去の災害の話を聞くという取り組みもおこなってきました。今後も、このような活動に参加していただける教育関係者の方々を広く募っております。詳しくは当研究所までご連絡ください。

(埋蔵文化財センター 上相 英之)



小学生によるひかり拓本アプリの撮影風景

地元中学校生徒による職場体験

8月31日から9月2日に奈良市立田原中学校から1名、12月1日から2日に奈良市立都跡中学校から3名が奈文研平城地区で職場体験をしました。これは、毎年奈良市内の中学生が地域の職場を訪れ、様々な人に出会い、社会で営まれている仕事を体験して、自分の将来について考える事を目的としており奈文研も地域連携の一環として協力しています。令和2年度・3年度は、新型コロナウィルス感染症にかかる社会情勢のため中止となりましたが、今年度は、3年ぶりの実施となりました。

職場体験の内容は、土器の選別・洗浄および接合作業、出土した動物の骨の分析、文化財の写真撮影方法および発掘現場での撮影、木簡の洗浄、資料保存環境のモニタリング、平城宮跡資料館の見学・展示入れ替え作業およびグッズの製作、遺物のX線撮影、古代ボードゲーム「かりうち」体験、土馬づくり等を実施しました。ほかの職場では体験できない奈文研ならではの内容を、提供できたのではないかと思います。

この職場体験を通して、奈文研の活動や色々な分野の仕事があることを理解していただいたと思います。また、この体験で歴史に興味を持っていただけて、将来、歴史関係の仕事に就く人が増えることを願います。

この職場体験とは別に、奈良教育大学附属中学校によるバックヤード見学も8月24日に実施し、16名が参加しました。

次年度以降も、たくさんの中学生に奈文研の研究内容を体験していただきたいと思います。

(研究支援推進部 不藤 忠義)



土器の洗浄体験の様子